

ひよつげんかい



# みんなが主役の表現会♪

二葉保育園 … 表現会(令和5年12月2日)



## 海陽町議会だより

12月定例会

発行 徳島県海陽町議会 TEL (0884) 73-4164  
編集 広報編集特別委員会 E-mail gikai@kaiyo-town.jp



Vol. **71** (2024.2)

おもな内容

委員長報告	2・4P
町長行政報告	9P
一般質問	10~15P

海陽町議会では総務産業建設、文教厚生との2常任委員会を設置しています。本会議から付託された議案などを活発に審議・調査しました。委員長報告から要旨を抜粋しお知らせします。

## 総務産業建設常任委員会

委員長 叶岡 徹

12月11日開会。

開会后、宍喰地区防災公園の巡視、その後、当委員会が所管する提出議案について、説明を受けた。

### 条例関係

○ 下水道事業の設置等に関する条例  
令和6年度より地方公営企業法に規定する財務規定の一部を適用するため、条例の制定を行う。  
○ 附属機関設置条例の改正

観光施設のあり方検討委員会の追加。

委員の問 委員は、どのような人材を考えている

のか。

答 観光事業者、大学関係者、公認会計士などを考えている。

### 契約関係

○ 防災行政無線設備更新整備工事請負契約  
プロポーザル方式により、随意契約を行う。

委員の問 随意契約を行った理由は。また、参加業者数は。

答 価格競争だけでなく、施工能力、技術提案、設備の保守料など総合的に精査し、選定した。参加業者数は、3社。

### 予算関係

○ 令和5年度一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ4億7126万円を追加し、総額を82億6146万円とする。

### 歳入予算

企業版ふるさと納税一般寄附金100万円は、民間企業1社から、道の駅にDMVのデザインマンホール蓋の設置のための寄附金。財政調整基金繰入金1億2000万円は、住民税非課税世帯等への給付金に伴う繰入であり、国の交付金の決定後、財源振替を行う。

### 歳出予算

総務費  
・ 光ケーブル移設工事 [255万円]

### 農業費

・ 馳馬農業揚水ポンプ修繕工事 [392万円]

### 商工費

・ 観光施設のあり方検討委員会委員報酬 [14万円]

・ サングの育成・観察学習施設の基本構想策定 [100万円]

### 公債費

・ 地方債繰上償還金

[1億4250万円]

### 諸支出金

・ 財政調整基金積立金 [9311万円]

### 委員の問

農業者の高齢化により、農業を辞める人が増えている。現在の農業者数は。また、どのような取り組みを行っているのか。

答 現在、約600世帯の方が従事している。取り組みとして、新規就農者や若手へ働きかけをしている。

### 委員の意見

農業者の収益性を高め、また、高齢の方が今後も継続できるように支援、体制づくりをお願いする。

### その他

委員の問 三幸館の運営について、見直すべきでは。

答 DMVの始発駅として、お客様に満足していただくため、続けていく。ただし、集客が見込めない場合は、見直しを検討する。

### 委員の問

12月3日の津波注意報の対応は。



宍喰地区防災公園の巡視

答 防災無線で放送を行い、釣り人を監視するため、警察と協力し、沿岸部のパトロールを行った。

### 委員の問

住民から放送が聞こえなかったという意見があり、改善すべきでは。

答 防災アプリの導入など、多くの人に周知できるように、取り組んでいく。

その他主な事業は、左のページに特集しています。



# 交通安全対策として 県営道路局部改良事業負担金 (県道上皆津奥浦線 相川地区)

## 525万円

**道** 幅が狭く車両の通行に対し危険であるため、地域住民から要望のあった、県道の拡幅工事を実施しています。今年度の事業費は3500万円で、町は15%の負担をします。



県道上皆津奥浦線

# 営農継続支援のために



大井頭首工魚道

## 農業水路等 長寿命化・ 防災減災事業 144万円

**海** 部川沿岸土地改良区の四方原4号幹線用水路、多良サイホン、大井頭首工魚道の修繕工事に対し、補助金を交付し営農継続を支援します。

# 地域農業の維持・発展のために

## 地域計画策定委託料 394万円

**将** 来、地域の農地を誰がどのように利用し、集積していくのか、地域の関係者が一体となって、おおむね10年後の目標地図を作成します。

# 文教厚生常任委員会

委員長 富田 寛

加。

12月12日開会。

開会后、デイサービスセンター「わしずみ荘」と「さつき荘」の巡視、その後、当委員会が所管する提出議案について、説明を受けた。

## 条例関係

○ 国民健康保険税条例の改正

出産被保険者に係る国民健康保険税について、その産前産後の期間、所得割額及び被保険者均等割額を減額する。

**委員の問** 減額される保険税の想定は。

**答** 所得によって金額は異なる。

○ 病院事業の設置等に関する条例の改正

令和6年4月1日より診療科に総合診療科を追

法書士などで構成する協議会の設置を想定している。

## 予算関係

○ 令和5年度一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ4億7126万円を追加し、総額を82億6146万円とする。

**総務費**

・住民記録システム改修委託料 [290万円]

**民生費**

・障害者総合支援法等の改正に伴うシステム改修委託料 [114万円]  
・実働保育所運営委託料 [241万円]  
・乳幼児医療費助成 [480万円]

○ 令和5年度国民健康保険特別会計補正予算

事業勘定において、第4期特定健診・特定保健指導の見直しに伴うシステム改修に63万円追加。

○ 令和5年度介護保険特別会計補正予算

介護報酬改定等に伴うシステム改修に407万円追加。

**委員の問** 介護保険の制度改正について把握できているのか。

**答** 保険料が現在の9段階から13段階への変更等を予定。

**委員の問** 在宅・通所介護の在り方も検討する中で、わしずみ荘・さつき荘のデイサービス統合延長も考えられるのでは。

**答** 利用者の減少や介護士等の人材の確保等の課題もある中で、適切な介護サービスが提供できるよう、取り組んでいきたい。

**委員の問** 後期高齢者医療の個人負担額は上がるのか。また、負担割合ごとの人数は。

**答** 所得に応じて変わってくることを想定している。また、8月1日現在で、被保険者2318人のうち、1割負担が2019人、2割負担が256人、3割負担が43

人である。

**委員の問** 新設する総合診療科で収入増が見込まれるのか。

**答** 診療数や入院数も増加することを見込んでいます。

**委員の問** 医師の給与は、

デイサービスセンター巡視



わしずみ荘



さつき荘

全国平均と比較してどうか。

**答** 常勤医・非常勤医とも、全国平均より低い。

その他主な事業は、左のページに特集しています。



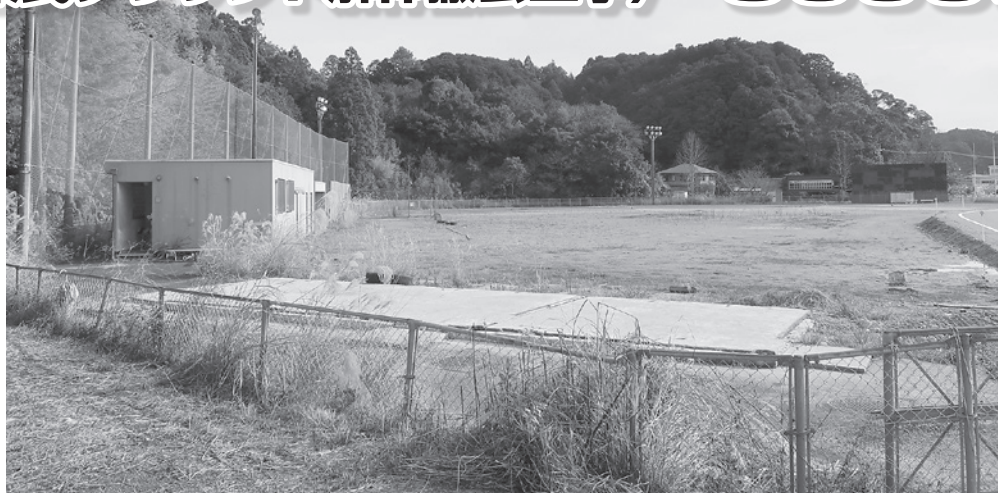
これからの道路整備のために

## 宍喰県民グラウンド施設解体事業

(海部野根道路事業用地に係る

宍喰県民グラウンド解体撤去工事)

**3000**万円



宍喰県民グラウンド

**高** 規格道路整備を進めるにあたり、宍喰県民グラウンドの三塁側ダッグアウト・観覧席・トイレ倉庫棟、バックスクリーンボード、及びナイター設備やネットフェンスなどの解体撤去工事を実施します。

負担を少なくするために

## 高齢者インフルエンザ 予防接種助成事業

(県事業) **192**万円



**高** 高齢者のインフルエンザ予防接種の自己負担1600円を半額助成し、800円とします。

暮らしの支援のために

## 臨時特別給付金事業

**1**億**2000**万円

**物** 価高騰の負担感が大きい低所得世帯の暮らしを支援するため、住民税非課税世帯等に臨時特別給付金を7万円追加給付します。

## 第4回定例会

### 議案の審議

令和5年第4回定例会は、12月11日開会。町長より16議案が提出され、審議の結果、原案どおり可決・承認し、12月14日閉会した。

### 条例関係

- ・下水道事業の設置等に関する条例
- ・職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ・国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- ・病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
- ・附属機関設置条例の一部を改正する条例
- ・空き家等の適切な管理に関する条例の一部を改正する条例

### 契約関係

- ・防災行政無線設備更新整備工事請負契約について
- 契約方法 随意契約
- 契約金額 8億4,975万円
- 契約相手 四電エンジニアリング株式会社
- 徳島支店

### 予算関係

- ・一般会計補正予算(第4号) 4億7,126万円↑
- ・国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 124万円↑
- 事業勘定 施設勘定 45万円↑

注釈  
↑ 増額  
↓ 減額

- ・後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) 11万円↑
- ・介護保険特別会計補正予算(第3号) 426万円↑
- ・浅川公共下水道事業特別会計補正予算(第2号) 7万円↑
- ・海部公共下水道事業特別会計補正予算(第2号) 19万円↑
- ・宍喰公共下水道事業特別会計補正予算(第3号) 17万円↑
- ・水道事業会計補正予算(第3号) 22万円↑
- ・海南病院事業会計補正予算(第3号) 556万円↑

## 祝 四国地区町村 議会議長会表彰

(議員として在職19年以上の功労者)



きのうち まさかず  
木内 正和 議員

## 12月補正予算後の歳入歳出予算

歳入	12月補正	補正後	構成比率
町 税	0	6億3,671万9千円	7.7
地 方 譲 与 税	0	1億3,850万円	1.7
利 子 割 交 付 金	0	30万円	0.0
配 当 割 交 付 金	0	670万円	0.1
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	0	390万円	0.0
法 人 事 業 税 交 付 金	0	1,340万円	0.2
地 方 消 費 税 交 付 金	0	1億6,570万円	2.0
環 境 性 能 割 交 付 金	0	390万円	0.0
地 方 特 例 交 付 金	0	130万円	0.0
地 方 交 付 税	0	37億4,415万8千円	45.3
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	0	50万円	0.0
分 担 金 ・ 負 担 金	0	5,158万1千円	0.6
使 用 料 ・ 手 数 料	0	8,086万6千円	1.0
国 庫 支 出 金	603万2千円	5億8,345万3千円	7.1
県 支 出 金	2,038万7千円	5億1,223万6千円	6.2
財 産 収 入	0	6,491万6千円	0.8
寄 附 金	100万円	170万円	0.0
繰 入 金	1億2,100万円	11億2,965万2千円	13.7
繰 越 金	2億7,047万8千円	3億3,654万5千円	4.1
諸 収 入	5,046万5千円	1億3,422万8千円	1.6
町 債	190万円	6億5,120万5千円	7.9
合 計	4億7,126万2千円	82億6,145万9千円	100.0

歳出	12月補正	補正後	構成比率
議 会 費	26万9千円	7,006万6千円	0.8
総 務 費	1,381万4千円	10億7,217万2千円	13.0
民 生 費	1億4,023万4千円	20億316万6千円	24.2
衛 生 費	975万1千円	8億5,434万1千円	10.3
農 林 水 産 業 費	1,177万4千円	6億1,452万8千円	7.4
商 工 費	1,051万6千円	4億1,560万6千円	5.0
土 木 費	1,475万円	8億4,323万1千円	10.2
消 防 費	171万円	4億6,669万円	5.7
教 育 費	3,284万円	9億1,489万5千円	11.1
災 害 復 旧 費	0	3,895万円	0.5
公 債 費	1億4,249万8千円	8億5,831万8千円	10.4
諸 支 出 金	9,310万6千円	9,555万6千円	1.2
予 備 費	0	1,394万円	0.2
合 計	4億7,126万2千円	82億6,145万9千円	100.0

# 議案審議

令和5年度

一般会計補正予算

## Q1 デザインマンホール蓋ふたへの改修工事請負費

〔130万円〕



高島議員

どのようなデザインで、どこに設置するのか。また個数は。

戎谷観光交流課長

デザインについてはDMVを考えており、場所は、道の駅にある既存の蓋を取り替える予定で、個数は1基である。

## Q2 森林環境税賦課徴収に伴う税務システム改修委託料

〔115万円〕



長岡議員

今後、森林環境譲与税の負担割合が変わると、本町にとってどの程度の譲与税が増えるのか。

乃一産業振興課長

現時点の国からの試算では、来年から約2000万円増加し、約1億2600万円となる。

# 議会のびいき

10月1日から  
12月31日まで

## 10月

- 6日 議会広報編集特別委員会
- 13日 四国地区町村議会議長会研修会及び自治功勞者表彰式（徳島市）
- 17日 議会広報編集特別委員会
- 20日 四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟総会（高知県芸西村）
- 23日 海部郡・安芸郡議長連合会要望活動（徳島市）
- 28日 未知フォーラム in 2023（阿南市）

## 11月

- 6日 議会全員協議会
- 8日 海部郡町村議会議員研修会（牟岐町）
- 24日 海部郡衛生処理事務組合第2回臨時議会（牟岐町）
- 27日 四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟中央要望（東京都）
- 28日 海部郡・安芸郡議長連合会中央要望（東京都）
- 29日 町村議会議長全国大会（東京都）
- 30日 令和5年度議長研修（東京都）

## 12月

- 4日 議会運営委員会・議会全員協議会
- 11日 第4回定例会（1日目）  
総務産業建設常任委員会  
議会運営委員会
- 12日 文教厚生常任委員会
- 14日 第4回定例会（2日目）
- 17日 徳島駅伝海部郡選手団結団式
- 18日 議会広報編集特別委員会



## 海部郡・安芸郡議長連合会 中央要望

国土交通省（令和5年11月28日）



## 四国地区町村議会議長会研修会

ホテルクレメント徳島（令和5年10月13日）



## 町村議会議長全国大会

NHKホール（令和5年11月29日）



## 海部郡・安芸郡議長連合会 道路整備要望

徳島県庁（令和5年10月23日）



## 令和5年度議長研修会

都市センターホテル（令和5年11月30日）



## 海部郡町村議会議員研修会

海の総合文化センター（令和5年11月8日）





# 「住民パワーに感謝」

町長 三浦 茂貴

5月に地方創生医師団シンポジウム、11月に海南病院まつりを開催し、医師や医学生をはじめとする医療関係者が全国から集まった。参加者のうち2名の総合診療科の医師が、次年度から海南病院に勤務していただけることになった。

また、病院まつり後、医学生の研修受け入れや、徳島赤十字病院から研修医も来る予定となっている。まさに町を挙げての住民パワーがあったからこそこの結果であると本当に感謝している。

徳島大学の医学生からの提案で、今年度から学生が中心となり病院職員や保健師などと共に町内で健康相談などを行う

て11月30日に完了した。地籍調査の進捗率が徳島県で最下位の7%だが、山間部で進めている森林境界明確化事業の16.8%を合わせて町全体で23.8%の進捗状況となっている。

令和4年度の国保加入者**特定健診受診率**が発表され、海陽町が65.33%で5年連続県下1位となった。

## 住み良い町の実現

**海部野根道路の早期完成**に向けて国の予算編成前に、徳島・高知両県の首長や副町長、議長などと共に四国整備局、財務省と国交省へ、さらに、徳島県知事及び県議会議員と共に自民党本部へも要望を行った。

**地籍調査事業**は予定の輛浦、奥馬谷の一部及び加島の一部の区域におい

## にぎわつまちの実現

ふるさと納税は、令和5年度4月から11月末までの8カ月間で4292件、1億758万6千円の寄付を頂き、4カ月を残して早々に1億円を達成した。返礼品提供事業者や生産者、担当職員の努力、そして皆さん方に宣伝していただいたためのものであると感謝している。

## はぐくむまちの実現

ICT教育は、海部小学校が徳島県より教育DX事業の推進校として指定を受け、一人一台の端末の活用について日々取り組んでいる。やれるところからどんどん進めていき、それに追従して町内全体の底上げを図っていききたい。

グローバル教育は、旧海部中学校の校舎を活用してハロウィンイベントを行い、約250人が参加をし、大盛況であった。今後も学校やイベント、町のさまざまな場所で英語に触れる機会を作り、「海陽町の中学校を卒業したら英語がしゃべれる」ことを目標に取り組んでいく。

## 海南病院改革検討委員会

会で協議を重ね、今後は、病床機能を回復期とし病床数45床を維持する中で、海部病院との連携や、在宅医療の強化、可能な限りの看取り患者の受け入れなどに取り組む。

これから地域から信頼される病院として、町からの繰入金も縮小できよう、職員が一つになって取り組み、客観的な評価も行っていく。

コロナも5類になり、各地域の行事や神社のお祭り、伊勢エビまつりや**駅前DMVフェス**など、他にもさまざまなイベントが行われた。

また、徳島県が期間限定で行っている、台湾からのチャーター便を活用したツアーで約700人のDMV乗車や、約400人のリビエラでの昼食とブルーマリンの乗船予約が入っている。



海南病院まつりであいさつする三浦町長  
(令和5年11月19日)

# 大活字本を購入する考えはないか



長江 範裕 議員

〈地域つながり課長〉

読書バリアフリー環境の充実に努めていく

**問** 図書館の利用率が減少している要因として高齢化により足を運べないことや目が悪くなり小さな文字が読みづらい、また、ICT化による紙離れ、活字離れも大きな要因となっている。  
そこですべての人が文字・活字の恩恵を受けられる「読書バリアフリー法」に基づき、通常よりも大きな文字を用いた大活字本を蔵書として購入する考えはないか。

**答** 池田地域つながり課長 徳島県読書バリアフリー推進計画に基づいて推進しているが、現在、図書全体の1%に満たない状況である。今後、計画的に読書バリアフリー環境の充実に努めていく。

# 今後の利活用について方策はあるか

〈地域つながり課長〉

学校と情報交換を行い、図書館の利活用を進めていく

**問** 国語力、特に読解力というのは文章や図表を正確に理解して活用する能力などとされ、すべての教科に不可欠とも指摘されている。学校にも図書室はあるが公立図書館を併用して利活用することにより読解力も育つと思うが、今後一層の利活用についてどう考えているのか。また、誰もが集える場所にする工夫は考えているのか。

**答** 池田地域つながり課長 読解力の向上のためには読書習慣を身に付けることが重要である。学校と図書館が連携し、定期的な情報交換を行い、図書館の利活用を進めていく。  
誰もが集える場所については、今後、全国各地の先進的な事例を研究しながら取り組んでいく。

**答** 三浦町長 図書館が町民の知識の拠点、若者世代が足を運んでわくわくできるよう



海南図書館

な場になるよう、教育委員会とも今後、検討していきたい。

般

質

問



# オーガニック給食に取り組んでは



佐川 富美 議員

## 〈教育次長〉 安定した食材の確保と 価格のバランスが必要である

**問** 農業や化学肥料に頼らない農産物による「オーガニック給食」が全国で広がりを見せている。学校給食は子どもたちの体をつくるだけでなく、健康で充実した生活を送るための基礎を培う健康教育の一環である。本町でも保護者の中にはオーガニック給食を望む声がある。有機食材は、免疫力の向上や基礎疾患の予防などが期待できるほか、農業振興、環境負荷の軽減にもつながる。本町では学校給食に地産地消を推進しているが、利用状況は。また、一素材からでも有機食材を導入しオーガニック給食に取り組んでは。



学校給食

**答** 森崎教育次長 毎月19日を食育の日として町内産の農水産物を使用している。また、この12月にも町内産の有機食材も使用している。

**問** 有機食材、無添加食材といえば、一般的に高いと感じるかもしれないが、将来の子供たちへの影響を考えると安いものである。未来の子供たちのためには、食の安全を提供することが重要である。有機給食導入についての考えは。

**答** 森崎教育次長 有機農業での農産物は、生産コストが約1.5倍ほどかかり、生産農家も少なく安定した収量が見込めない状況である。今後、使用するにあたっては、安定した食材の確保と価格のバランスが必要である。

## 地震発災時の事前対策は

### 〈建設防災課長〉 家具固定専門員派遣制度や 避難所開設訓練など行っている

**問** 今年も12月17日に防災訓練が行われる。地震が起きた時には、まず命を守る行動をとることは認識している。しかし想定は予測できない。そのためには事前に備えをしておくべき。その中でも家具転倒、ガラスや照明などの飛散防止の対策について啓発活動、助成金などはどうなっているのか。

**答** 黒木建設防災課長 啓発活動については、広報誌への掲載、南部防災館での出前講座、自主防災会連絡協議会で事業説明を行っている。助成については、3家具までの固定費用を助成し、また、県事業により飛散防止対策費用を助成する制度が新設されている。

**答** 黒木建設防災課長 住民全体の避難所運営訓練については、自主防災会、地域住民、生徒、児童を対象に行っている。また、今後は避難所周辺地区に対応した訓練も検討していきたい。

**問** 牟岐町役場・海部消防署本庁舎、また美波町ではこども園と防災公園を兼ねた高台移転の整備が行われている。本町の今後の高台移転と、被災後の仮設住宅設置場所の確保はどうなっているのか。

**答** 黒木建設防災課長 令和3年度に事前復興計画を策定し、令和4年度から事前復興推進事業を実施している。今後も引き続き、地域住民の方と共に高台移転や仮設住宅等の事前復興について検討していく。

般

質

問



富田 寛 議員

# 「うみのこてらす」の運営に 助成を検討できないか

〈教育長〉国や県の動向も注視して、  
郡内3町で検討を進めていきたい

**問** 牟岐町内に「うみのこてらす」という団体があり、2020年にスタートして今年で4年目を迎えている。そこでは子どもたちの居場所を運営している。2022年6月から週1回開催している、子どもたちの居場所「ゆあぶれ」では、小学生16人、中学生24人、高校生17人が利用している。また、2022年9月から毎週木曜日に開催している学校に行きづらい子どもたち向けの居場所「フリースペースわれもこう」では、小学生14人、中学生5人、高校生3人が利用している。海陽町からも5人ぐらいの利用がある。ここでは自主的に勉強したり、誕生会、畑づくり等、多様な体験活動ができ、自分らしさの土台となる経験ができる。

学校に行けない、行きづらい子どもたちの支援で大切なのは、悩みを抱え込むことのないように子どもたちを孤立させないことである。子どもたちの居場所は、人とつながり、不安を和らげるための受け皿となるとともに、引きこもりの予防、家庭内暴力の防止、その児童・生徒の今後の人生にも大きな影響を及ぼしてくるので、教育施策の一環として必要不可欠と考える。

主なスタッフとして、大学生や元小中学校長、元小学校教員等が関わっている。しかし、人件費に充てる財源がなく、スタッフはボランティアで参加している。今後の活動が恒久的に行えるように助成ができないか。

**答** 三浦教育長  
学校以外の学びの場として社会的自立を目指す上で大切な居場所であると認識している。助成については、国や県の動向

も注視して持続可能な運営のため、どのような支援ができるか郡内3町で検討を進めていきたい。

# 耕作放棄地の利活用対策は

〈産業振興課長〉農家の方が安心して  
農業を続けていけるよう取り組んでいく

**問** 2015年の海陽町農家個数650戸、経営耕地面積446ヘクタールであったが、5年後の2020年農家戸数524戸、経営耕地面積392ヘクタール、減少率12.2%になって来ている。近年の高齢化により田畑の耕作放棄地、休耕田等ますます増加傾向、この耕作放棄地等の利活用について町としての対策は。

**答** 乃一産業振興課長  
農地の保全対策として、国の事業の活用や地域における将来の農地利用の姿を明確化する地域計画の作成、また、農業者に返却された農地の情報提供などを行い、耕作放棄地の発生防止に努めていく。

**問** 地域計画策定推進緊急対策事業の推進のため、固定資産税の3分の1等の減免や土地に係る用水代金の免除制度、ポンプの電気使用料金の減免制度を設け、また個人経営農家、自家消費型農家がなくならないようし、事業が進むよう検討しては。

**答** 乃一産業振興課長  
農家の方が安心して農業を続けていけるよう、提案いただいた点について検討し、できることから取り組んでいきたい。



耕作放棄地





原 ひろみ 議員

## DMV利用客の観光交通手段の確保を

〈観光交流課長〉  
新たな交通手段について  
情報収集を行っていく

**問** 新型コロナウイルス類移行後、増加しているDMV利用客が、観光施設マリオンジャムまでの交通手段も少なく困っている。タクシー会社もドライバー

の高齢化や減少で、事業所数も減少している。町としては町内運行バスやライドシェアの活用など、観光手段を考えているのか。

**答** 戒谷観光交流課長

穴喰地区を運行する町営バスは、運転手1名体制なので、拡充が難しい。また、ライドシェアについては、国の動向を注視し、対応を考えていきたい。

**問** DMVによる町内観光ツアーはどうなっているのか。

**答** 戒谷観光交流課長

町内の観光地を巡るツアーの造成については、四国の右下観光局が主体となり実施している。当町としても新

たな観光ツアーづくりなど検討していく。

**問** 徳島南部バスの竹ヶ島回りの回数は、どのくらいあるのか。

**答** 戒谷観光交流課長

下り便数が9便、上り便数が8便である。

**問** ホテルリビエラから車は出せないのか。

**答** 戒谷観光交流課長

観光案内を兼ねた送迎などは法律で禁止されているため、送迎は行えない。



道の駅に停車するDMV

## 生ごみ処理機「キエーロ」の普及と購入補助を

〈住民環境課長〉普及促進に取り組み、既存の補助金要綱で対応していく

**問** 近年の異常気象を受け、地球温暖化防止、CO<sub>2</sub>削減、焼却炉の老朽化を考えると、焼却炉の温度を下げる生ごみをできるだけ減少する必要がある。キエーロを使用すると生ごみが土の中のバクテリアで分解され、1週間程度で消滅する。臭いもしない、虫もわかない、堆肥にできる、狭い場所にも置ける等の利点がある。町民にキエーロ

## 带状疱疹ワクチンの接種費助成の早期実現を

〈子どもあゆみ保健課長〉  
県に要望を行い、早期実現に向けて取り組んでいく

**問** 带状疱疹は50歳以上の成人が免疫が落ちた時に発症し、治療が遅れると重症化し、神経痛の後遺症が続く。生活の質を落とし、長年痛みに苦しむことになる。带状疱疹ワクチンの認知度はコロナや肺炎ワクチンと比べ低い。接種

の普及を推進してはどうか。

また、障害者施設等で作成、販売し、そこで買った品の販売価格の半額ぐらゐを補助できないのか。

**答** 中内住民環境課長

キエーロ作り体験や、実践者の声を聞くなどキエーロの普及促進に取り組んでいきたい。

また、町内の事業所で製作可能であれば、既存の補助金要綱で対応できると考えている。

費用も高く4万から5万円かかる。年金生活者には高価すぎる。ワクチンを1回接種することで、発症リスクが抑制され安心を手に入れられる。国に先駆け、町独自で早期に半額助成ができないか。

**答** 大崎子どもあゆみ保健課長

助成について、県に要望書を提出しているが、再度、要望を行い、早期実現に向けて取り組んでいく。

般

質

問

# 海部川清流保全条例の現状は



木内 正和 議員

〈住民環境課長〉 環境保全のため、  
平成8年1月1日に条例が施行された

**問** 海部川清流保全条例が制定されているが、当初の制定の趣旨と今までの活動取組は。

**答** 中内住民環境課長

平成2年に産業廃棄物問題が発生し、旧海南町議会で水道水源保全条例の必要性が提起された。また同年に、徳島大学による水質調査で海部川の水が良好であるという結果もあり、各種団体や住民による清掃活動など環境保全愛護の機運が高まり、旧海南・海部町と漁協が条例策定について話し合わせ、平成8年1月1日に条例が施行された。

活動取組として、各種団体や住民による水源地での植樹や河川の清掃活動、役場としては水質調査やパトロール、また

パンフレット作成や不法投棄の看板設置などを行い、環境保全に取り組んでいる。

## 清流海部川の保全と地域社会の調和と創造を目指し啓発しては

〈住民環境課長〉  
住民意識の高揚と啓発活動の強化に努める

**問** ボランティアの各グループも減少高齢化しており、審議会10名、協議会30名のメンバーを見直し、積極的に清流海部川の自然の恵みと触れ合いながら、清流海部川にふさわしい保全と地域社会の調和と創造を目指して啓発しては。

**答** 中内住民環境課長

海部川の清流を次世代に守り残すため、河川管理者の行う清流保全対策と相まって、町、事業者、町民がそれぞれの責務を果たしつつ、審議会及び協議会のメンバーを見直し、現在の状況に応じた取り組みを行い、また住民意識の高揚と啓発活動の強化に努めていく。



海部川（桑原大橋上流）

般

質

問



# 大谷選手からのグローブの活用は



叶岡 徹議員

〈教育次長〉多くの児童生徒が手にする機会を設ける

**問** 大谷選手より全国各小学校にグローブを3個ずつ寄贈されることだが、今後どのように活用するのか。また各小学校において野球チームが減少しているが、大谷選手の意向に対して、教育委員会として今後、どのように取り組んでいくのか。

**答** 森崎教育次長  
できるだけ多くの児童生徒が手にする機会を設ける。

**答** 三浦教育長  
いただいたグローブを長く活用できるように、授業や放課後子ども教室などの中で活用していく。

## 子どもたちの安全な通学路の確保は

〈教育次長〉保護者に情報提供を行い迅速な対応を取っていく

**問** 最近、本町においてもサルの被害が多発している。子どもたちの通学路にも多く見受けられるが、子どもたちの安全な通学路を確保しなければならぬ。これからどうしていくのか。

**答** 森崎教育次長  
通学路での野生動物の目撃情報があれば、保護者に情報提供を行い、各関係機関と連携して迅速な対応を取っていく。

## 希少植物の看板等を設置しては

〈地域つながり課長〉看板等の設置を考えていく



長泉寺川に咲くミズトラノオ

**問** 吉野地区の長泉寺川に「ミズトラノオ」、「コウホネ」と希少植物が生えている。最近ではマスコミにも取り上げられ、見物客が増加している。他所から見に来られた方も分かりやすい看板等の設置をするべきだが、どうしているのか。またD

MV発着場にも案内板を設置するべきだと思うが。

**答** 池田地域つながり課長  
今年度、ミズトラノオ群生地看板を制作した。また、DMVに乗り来られた方へも周知できるように考えていく。

## 非耕作地や空き地等に花を植えては

〈教育次長〉各関係機関と連携し検討していく

**問** 最近、非耕作地また空き地等において、セイタカアワダチソウ、ブタクサ等が多く生えてきている。その空き地等に学校教育として花を植えてはどうかと思う。美しい町にするため、春は菜の花、秋はコスモス等を植えて情操教育をしてはどうか。

**答** 森崎教育次長  
美しい花が咲くことで環境が良くなることから、各関係機関と連携し検討を進めていく。

しげ た  
重田 マサエさん

日比原字大野 満97歳  
(大正15.6.26生)



• 元気の秘訣は？

毎日、散歩をしている。  
週1回、体操教室に通っている。

• 日常生活は？

母と娘3人で出かけて楽しんでいる。  
コーヒーを飲みながら、テレビで演歌を見ている。

• 人生の思い出は？

近所の人達とカラオケをしたり、旅行に行ったこと。  
桜を見に主人と高知県へ行ったこと。



自宅前にて(令和6年1月19日)



○ タコノアシ

川やため池などの流れのゆるやかな泥湿地に生える植物。現在は海陽町(宍喰)と鳴門市に生育。8月に開花。絶滅危惧Ⅱ類。

取材に笑顔で協力いただいた皆さま、ありがとうございます。(東)

2024年新年の始まりは、能登半島大地震、翌日には羽田空港での衝突事故と、日本中が驚きと不安に包まれました。このたびの災害に対し、心よりのお見舞いと、一日も早い復興をお祈りいたします。  
議会広報の最終ページでは、「町のご長寿さん」を紹介しています。長寿の秘訣は、食事や睡眠をしっかりと取り、適度に運動する、さらには物事にこだわらず、大らかな気持ちで過ごす。生活習慣の見直しの参考になりますね。

編集後記